

第615回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

石川啄木生誕130年記念番組

「啄木と女たち～26年間の人生、彼は自由を求め続けた～」

平成28年11月28日（月）

（株）I B C 岩手放送

第615回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成28年11月28日(月)午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 村井 康典 栗田 均

龍澤 尚孝 澤口 たまみ

小松 務 宮 順子

欠席委員の氏名 岩田 圭司 畠山 俊彰

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

中島 勝志 報道局長

堀米 道太郎 テレビ制作部長

千葉 佳史 テレビ制作部ディレクター

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 石川啄木生誕130年記念番組

「啄木と女たち～26年間の人生、彼は自由を求め続けた～」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 啄木の創作活動を陰で支えた女性にきっちり焦点が当てられていて、よくまとまっていたと思う。節子を初めとする女性たちとの出会いや、啄木の彼女らに対する思いを新たな角度から知ることができて、また別な意味で啄木の生き方、生涯を知ることができ見応えがあった
- 詩の朗読、ナレーションがよく、1つ1つの景色がすごく美しく、改めて盛岡ってきれいな街だなと思った。昔の写真がいろいろ出てくるところで、明治の雰囲気が出ていたし、東京の不忍池のハスの花がパッと咲いた映像など、番組に石川啄木の人柄とか歌を伝える力があつた。タイトルほど、女性のことは印象に残らなかったが、やはり節子さんはどんな人だったんだろうと、最後に印象として残った。
- 冒頭、松原アナの啄木へのイメージと、山本さんのこれに対する自信ありげな「そのイメージを崩したい」という会話から、松原アナのイメージがどう変わるのかという視点からも番組に興味・関心・期待を持たせるような始まりで、工夫がなされていた。節子の啄木を愛して信じ続ける一途な気持ちは番組の中でも紹介されていたが、ほかの女性たちが啄木に対してどう考えていたのか、どういう気持ちでいたかについても、もう少し触れて欲しかった。
- 啄木研究者としての山本玲子さんは素晴らしいと思うが、今回の番組に関して言うと、「私はこう思います」という言い切りが非常に多く出てくる。私たちにとってはなぜそう思うのか、どこにどういう文章があつて、あるいは女性たちの手紙の中にどういう言葉があつて「私はこう思う」という部分があればなおよかった。
- エンディングで松原アナが、啄木が没した26歳と同じ年ということもあつたと思うが、自身のこれまでの生き方を振り返りながら「これから前向きに生きていこう」というようなコメントには、共感を持つことができた。